

042

防災について学べる「点字付きすごろく」

取組主体

NPO 法人みらいネット浜松

従業員数

想定災害

実施地域

132人

全般

静岡県

- 災害時に支援が必要な「災害弱者」になりやすい視覚障がい者に向けて、遊びながら被災時に必要な行動を学び、防災意識を高めてもらう「点字版防災すごろく」を製作している。

1 取組の特徴（はじめたきっかけ、狙い、効果、工夫した点、苦労した点）

災害弱者になりやすい視覚障がい者を守るため「点字付きすごろく」を製作、普及

- 静岡県浜松市を拠点に、住みやすいまちづくりのための講座や研修会等を開催する NPO 法人みらいネット浜松は、地震や台風等の発生時に支援が必要な「災害弱者」になりやすい視覚障がい者に、遊びながら防災意識を高めてもらう狙いで「点字版防災すごろく」を製作した。
- 東日本大震災の後、被災時に必要な行動を楽しく覚えらるる方法を考え、平成 26 年に「防災すごろく」を開発した。防災に役立つアイテムカードを集めながら、「学校や福祉施設等において集団で被災した場合」と、「1人で被災した場合」の2つのコースのどちらかを進んでゴールを目指す内容となっている。災害時に取るべき行動等について易しい言葉でわかりやすく説明されており、老若男女問わず防災・減災を学ぶことのできる内容となっている。
- 同法人では、「防災すごろく」を視覚障がい者も使用できるようにしたいと考え、全国で初の「点字版防災すごろく」を発売した。令和 2 年 11 月に、浜松市内で視覚障がい者支援を行う NPO 法人六星の運営する就労継続支援 B 型施設の利用者が点訳作業にあたり、すごろくの台紙とアイテムカードに点字が刻まれた透明テープを貼った。
- 点字版防災すごろくは 50 セット作成し、学校や福祉施設等で出前講座を開催している。令和 3 年 2 月に点字新聞「点字毎日」で紹介され、全国の特別支援学校から購入希望が相次いだ。



点字版防災すごろくの実践の様子

2 取組の平時における利活用の状況や防災・減災以外の効果

- 点字版防災すごろくの存在を知ることが、視覚障がい者への合理的配慮や理解のきっかけにもなっている。

2 現状の課題・今後の展開等

- コロナ禍で出前講座が減り、防災すごろくを活用できる場が制限されている。同法人では、出前講座が難しい場合でも、防災すごろくを活用してもらえるよう、販売、郵送にも対応している。

担当者の声

- 私たちのボランティア活動が、今後も皆様のためになるよう、努力をしていきたいと思ひます。持続させることが大切と考えています。苦心してようやくできた「みんなの防災すごろく」が、出前講座の参加者に喜ばれることが本当に生きがいにつながります。今はコロナ禍で出前講座が少ない状況ですが、販売して大勢の全国の皆様に活用してほしいと思ひています。
- 点字すごろく作成実践により、視覚障がい者が「自分たちは特殊でなく、社会からも取り残された存在ではないんだ」と話し、誰でもできるという防災すごろくの意味を再認識しました。災害を風化させない、身近なことからしていく、誰もが命を大切にす。「みんなの防災すごろく」を使用して、さらに会の活動を活発化させていきます。

問合せ先

NPO 法人みらいネット浜松 法人番号：5080405007124  
TEL：053-570-8696 FAX：053-570-8696 E-Mail：cbf05258@nifty.com